

# 決算説明資料

## 2021年度 第3四半期決算

岩崎通信機株式会社

**あらゆる人やモノを繋ぐコミュニケーションで、  
生きがい溢れる社会創りに貢献する**

We connect the world,  
striving towards building  
a society for tomorrow.

## ◇2021年度 第3四半期実績

1. 連結業績
2. セグメント別業績
3. 連結貸借対照表

## ◇2021年度 通期業績予想

4. 通期業績予想・配当予想

## ◇トピックス

5. プライム市場を選択
6. 当社の新たな取り組みのご紹介

# 2021年度 第3四半期決算 (2021年4月～2021年12月)

# 1-1. 連結業績

(単位：億円)

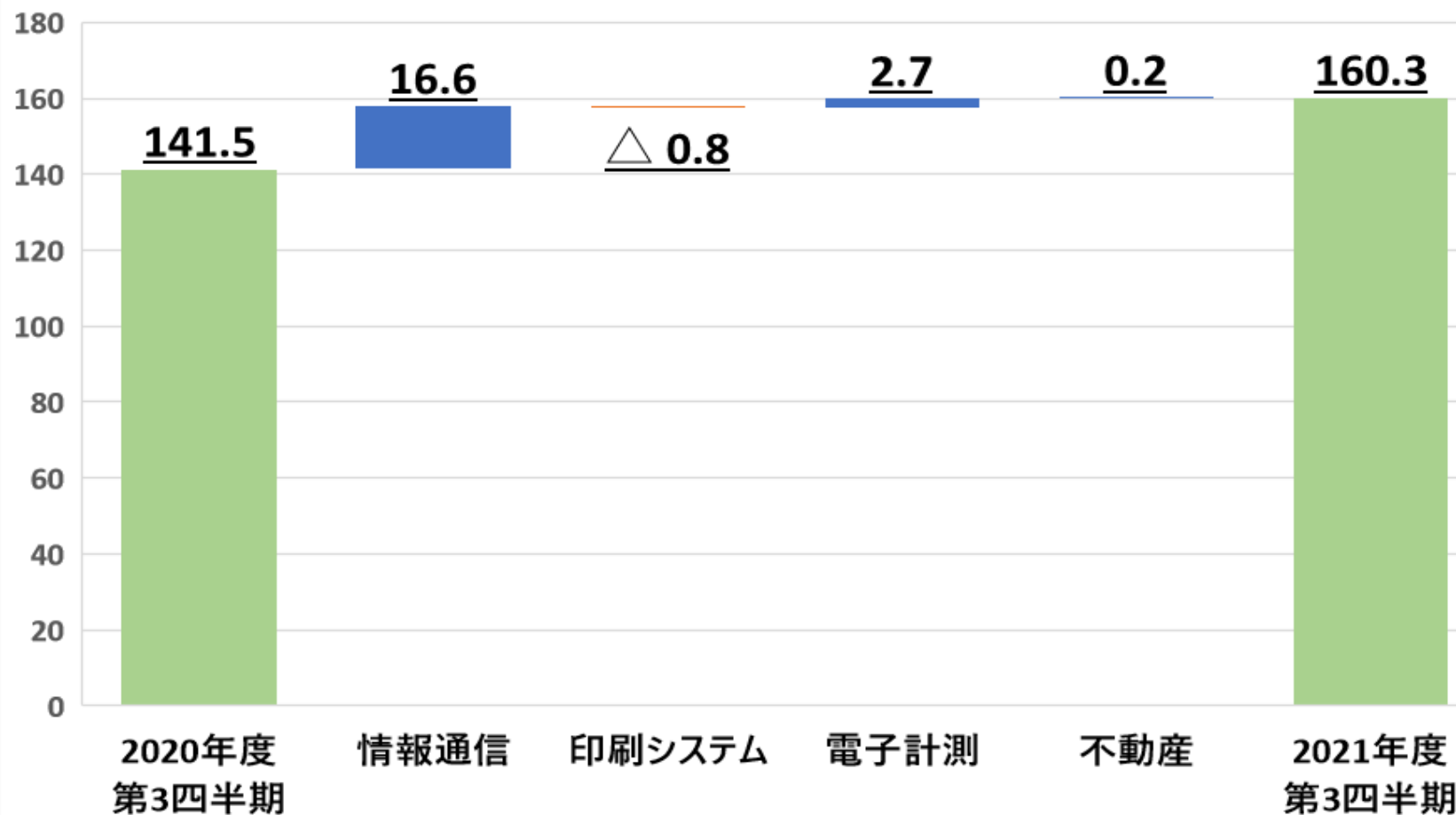
	前年（2020年度） 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減
	実績（連結）	実績（連結）	
売上高	141.5	<b>160.3</b>	18.8
情報通信	109.7	126.3	16.6
印刷システム	12.3	11.6	△0.8
電子計測	16.3	19.1	2.7
不動産	3.1	3.3	0.2
営業利益	△10.7	<b>△3.3</b>	7.5
情報通信	2.4	8.2	5.8
印刷システム	△1.6	△1.2	0.4
電子計測	△1.6	△0.2	1.4
不動産	1.2	0.6	△0.6
調整額	△11.2	△10.7	0.4
営業外損益	0.8	1.0	0.1
経常利益	△9.9	<b>△2.3</b>	7.6
特別損益	1.5	0.9	△0.7
法人税等	0.2	△0.1	△0.2
当期利益	△8.5	<b>△1.4</b>	7.1

# 1-2. 連結業績

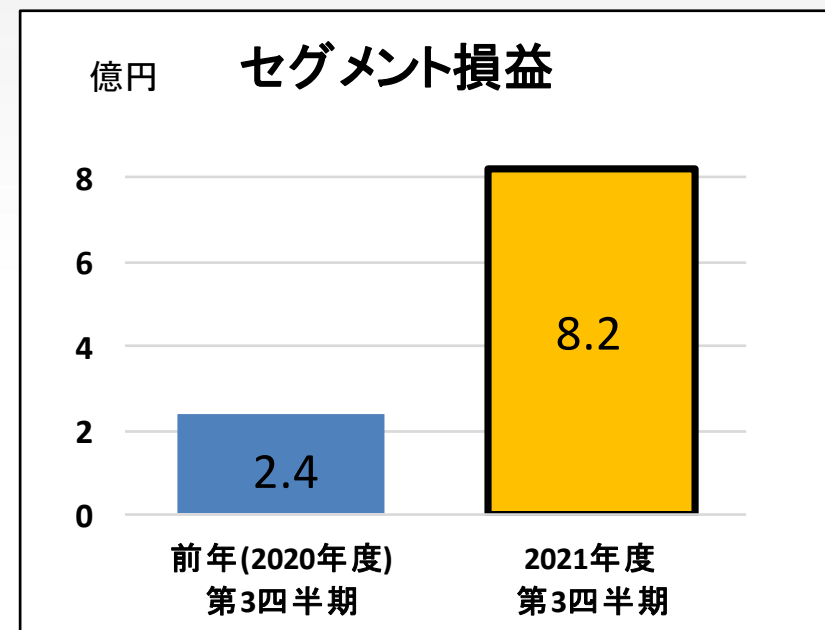
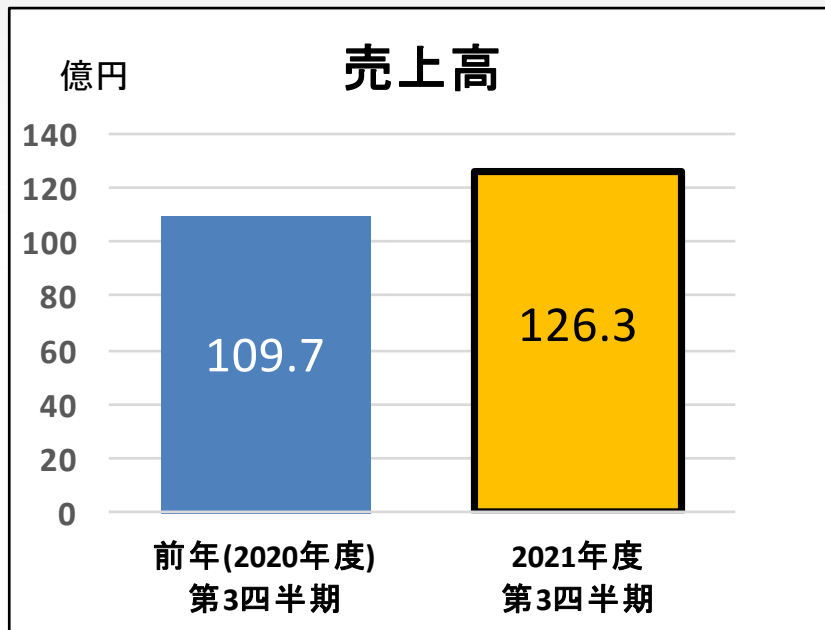
## 連結売上高の増減

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

(単位: 億円)



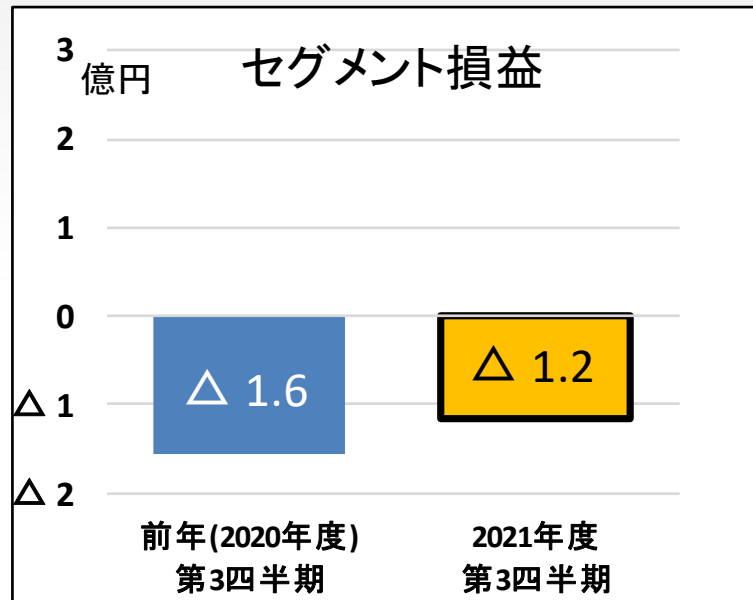
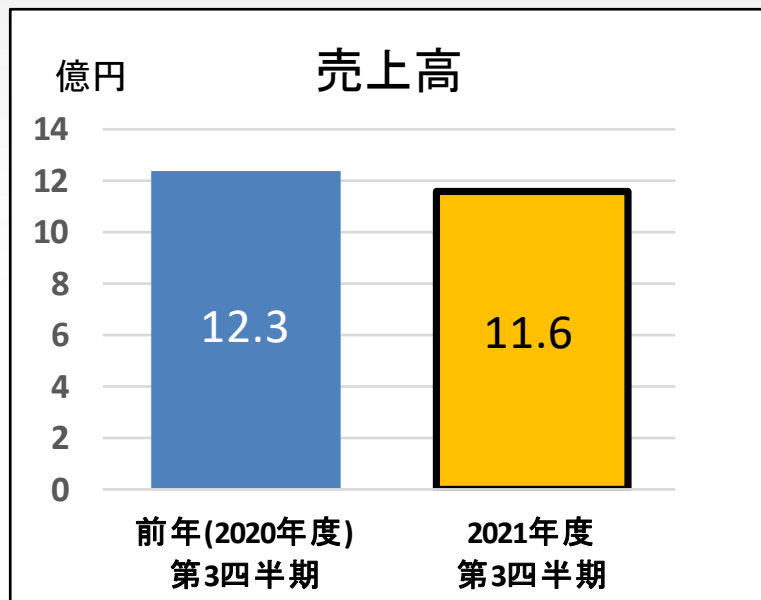
## 2-1. セグメント別業績（情報通信）



- 売上高は、主力製品であるビジネスホンと生産子会社における受託生産の売上高が増加したことにより、前期比+16.6億円の増収。
- セグメント利益は、売上高の増加に伴い、前期比+5.8億円。



## 2-2. セグメント別業績（印刷システム）



- 売上高は、主に印刷関連機器及びコロナ禍の市場低迷による消耗品の売上高が減少したことにより、前期比△0.8億円の減収。
- セグメント利益は、原価率の改善により、前期比+0.4億円。



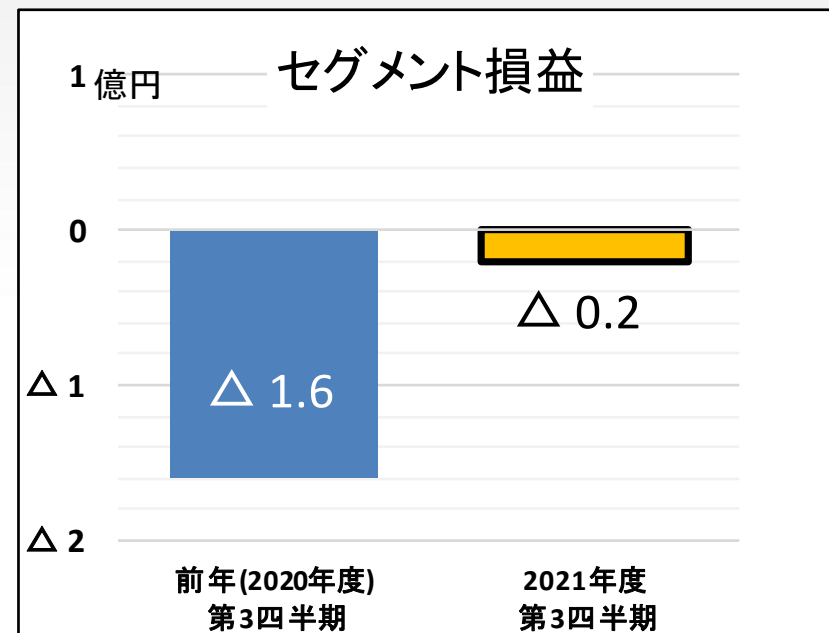
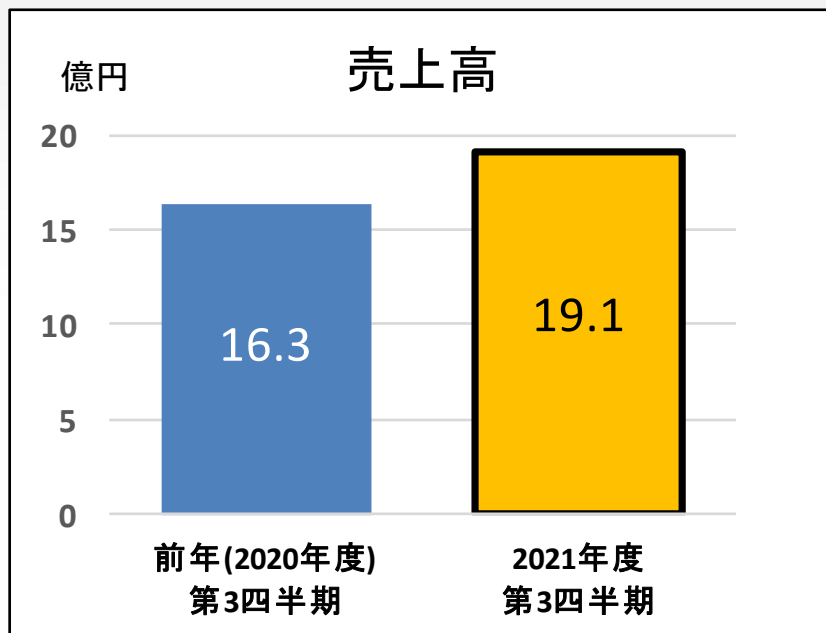
産業用デジタルラベル印刷機  
**Label Meister**  
EM-250W/EM-250A



アルコール除菌剤  
「ALMEE」



## 2-3. セグメント別業績（電子計測）



- 売上高は、主にパワーエレクトロニクス関連の売上高が増加したことにより、前期比+2.7億円の増収。
- セグメント利益は、売上高の増加に伴い、前期比+1.4億円。

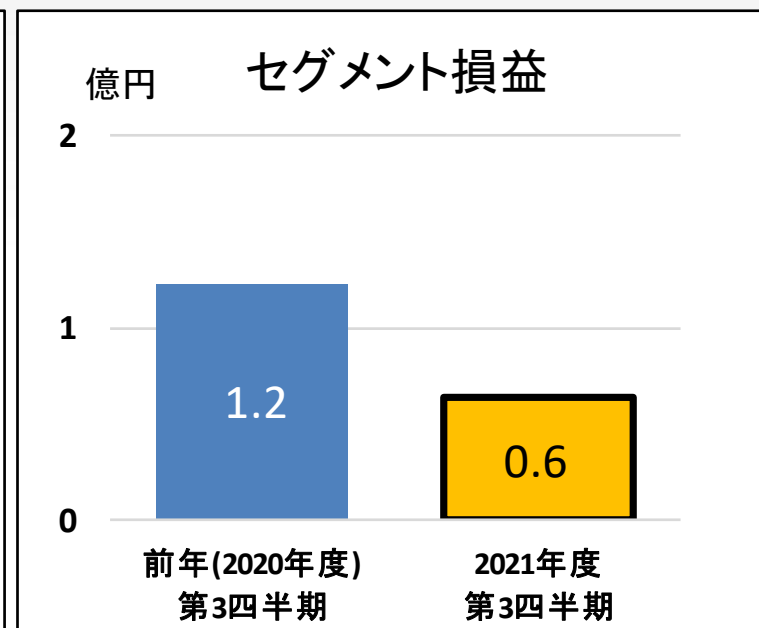
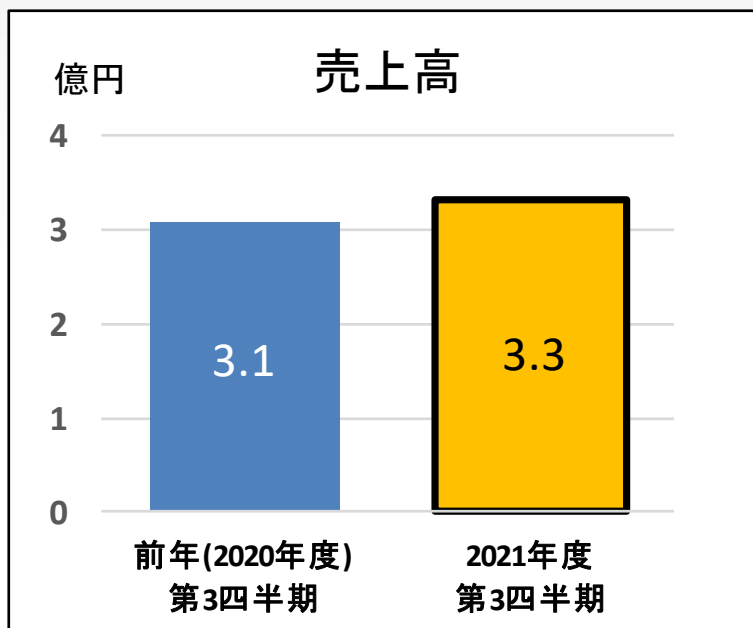


デジタル・オシロスコープ  
DS-8000シリーズ



半導体カーブトレーサ  
CS-8000シリーズ

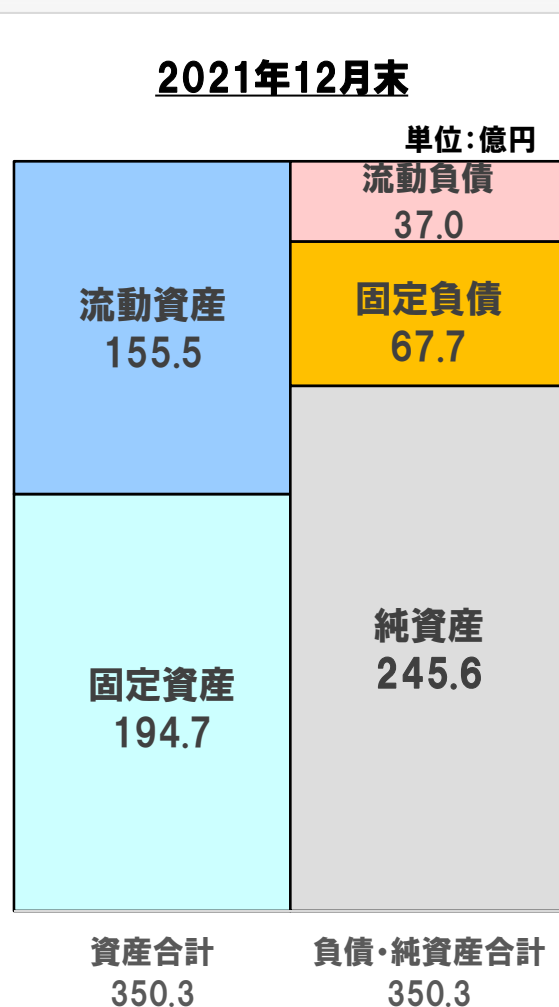
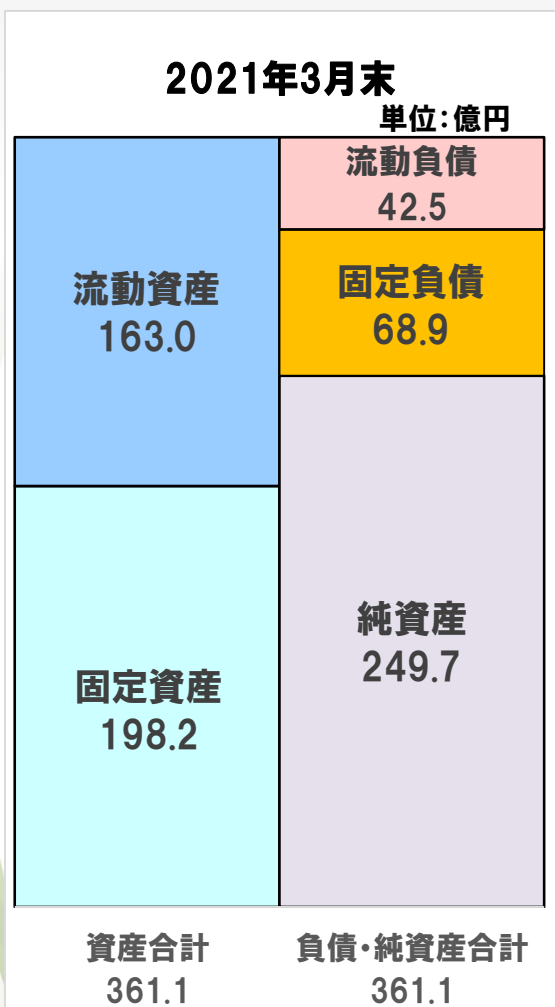
## 2-4. セグメント別業績（不動産）



- 売上高は、前期比+0.2億円。
- セグメント利益は、新たに取得した収益物件の償却費負担により、前期比△0.6億円。

# 3. 連結貸借対照表

## ・主な増減要因



- 流動資産  $\Delta 7.4$ 億円  
 売掛金  $\Delta 17.0$   
 商品及び製品 +3.3、仕掛品 +2.8、  
 原材料及び貯蔵品 +3.5 等
- 固定資産  $\Delta 3.4$ 億円  
 有形固定資産  $\Delta 1.7$   
 無形固定資産  $\Delta 2.1$   
 投資その他の資産 +0.4 等
- 流動負債  $\Delta 5.5$ 億円  
 支払手形及び買掛金  $\Delta 4.0$   
 賞与引当金  $\Delta 2.4$   
 その他  $\Delta 1.3$  等
- 固定負債  $\Delta 1.1$ 億円  
 退職給付に係る負債  $\Delta 1.2$  他
- 純資産  $\Delta 4.0$ 億円  
 利益剰余金  $\Delta 5.3$   
 その他有価証券評価差額金 +0.1  
 為替換算調整勘定 +0.4  
 退職給付に係る調整累計額 +0.4 等

# 2021年度 通期業績予想

## 4. 通期業績予想・配当予想

- 2021年5月14日発表の通期業績予想及び配当予想に修正はありません。

### 業績予想

(単位：億円)

	前年(20年度)	2021年度	増減
	通期	通期	
	実績(連結)	予想(連結)	
売上高	217.1	242.0	24.9
営業利益	△9.7	2.0	11.7
経常利益	△9.0	3.0	12.0
当期純利益	52.3	2.5	△49.8

### 配当予想

(単位：円)

	前年	21年度	増減
	(20年度)		
	実績	予想	
中間配当	0.0	0.0	-
期末配当	40.0	10.0	△30.0
合計	40.0	10.0	△30.0

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。特に世界的な半導体不足により、当社主力商品の部品調達に遅延が発生した場合、その影響を受ける可能性があります。

# トピックス



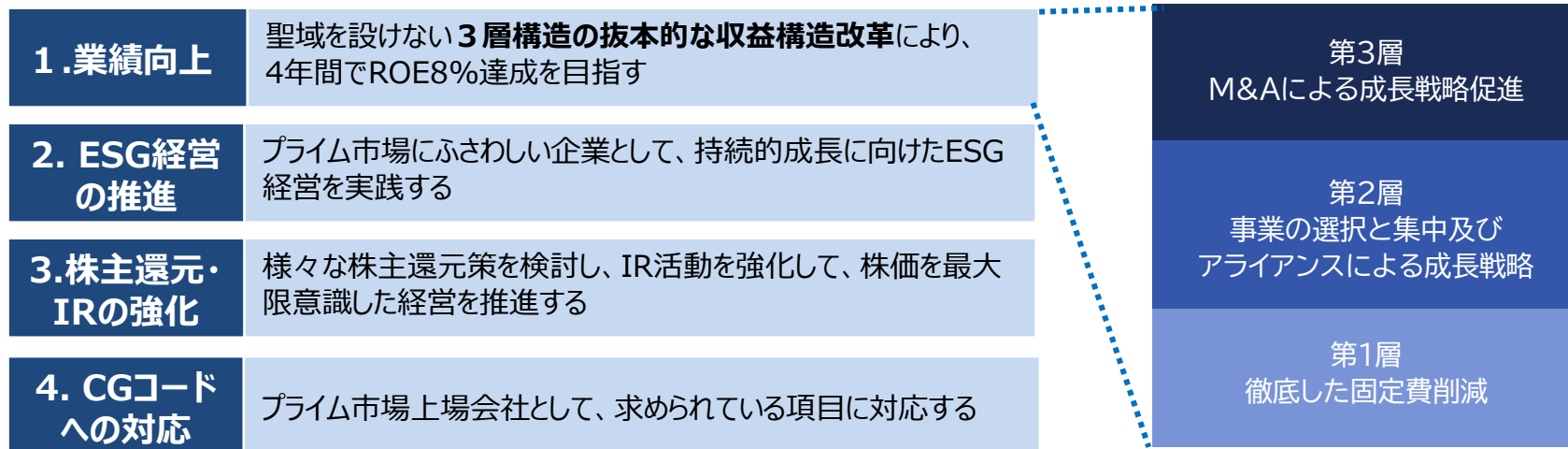
# 5. プライム市場を選択

当社は、2022年4月に予定される東京証券取引所の市場区分の見直しにおいて、**プライム市場**を選択いたしました。

プライム市場の上場維持基準のうち、移行基準日時点（2021年6月30日）で当社が基準を満たしていない「**流通株式時価総額**」「**1日当たり売買代金**」に関しては、**現在策定中の新中期経営計画（2022～25年度）の実現を通じて、基準の達成を図ってまいります。**

## 対応方針

新中期経営計画の実行により、時価総額を高め、流通株式時価総額、1日当たり売買代金の  
上場維持基準の達成を図ります



※新中期経営計画は、2022年5月までにTDnetで開示いたします。  
その際に数値目標等もお知らせする予定です。

■ 2021年12月23日付

## SBT (Science Based Targets) 認定の取得方針を表明

当社は、パリ協定が定める目標に科学的に整合する温室効果ガスの排出削減目標「**Science Based Targets (サイエンス・ベースド・ターゲット)**」(以下「SBT」)を認定する機関「SBT イニシアチブ」(以下「SBTi※」)に対して、コミットメントレターを提出し、**2年以内にSBTの認定取得を目指すことを表明**しました。

岩通グループは、脱炭素社会実現に貢献するため、今までも消費電力量の削減をはじめ、様々な取り組みを行ってまいりました。今般、グループを挙げての取り組みを更に加速させるためにSBTiへの宣言を行いました。今後、目標の設定とその実現に向けて取り組んでまいります。

2022年1月11日時点で**SBT認定を取得している企業は世界で1,094社、うち日本企業が150社**です。また、**2年以内のSBT認定取得をコミットしている企業は、世界で1,224社、日本企業で32社であり、当社もその1社**です。認定取得済み、コミット済みの企業は、Science Based Targetsサイト (<http://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action/>)において公表されています。

※SBTiとは

WWF (世界自然保護基金)、CDP (カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)、WRI (世界資源研究所)、国連グローバル・コンパクトの4団体が共同で設立した国際的イニシアチブ。地球の平均気温上昇を産業革命前と比べ、1.5℃に抑えるという目標に向けて、科学的根拠に基づいた削減目標を企業に働きかけている。



## 6-2. 当社の新たな取り組みのご紹介

■ 2022年1月26日付

### 小規模事業所向けビジネスホン「Frespec-s」を発売



2022年1月26日、20名程度の小規模な事業所に最適なビジネスホン「**Frespec-s(フレस्पек エス)**」を発売しました。

従来機種である「LEVANCIO-S(レバンシオ エス)」の後継機種として、「**オフィスのDX化を実現するコミュニケーションツール**」を商品コンセプトとしています。スマートホン/コードレス収容、IP対応、クラウド連携機能を充実させ、快適・自由なオフィス環境を実現します。

また、すでに発売済みの中・大規模事業所向け機種「Frespec」との連携が可能で、拠点毎に最適なシステム規模の選択が可能となります。

# 6-3. 当社の新たな取り組みのご紹介

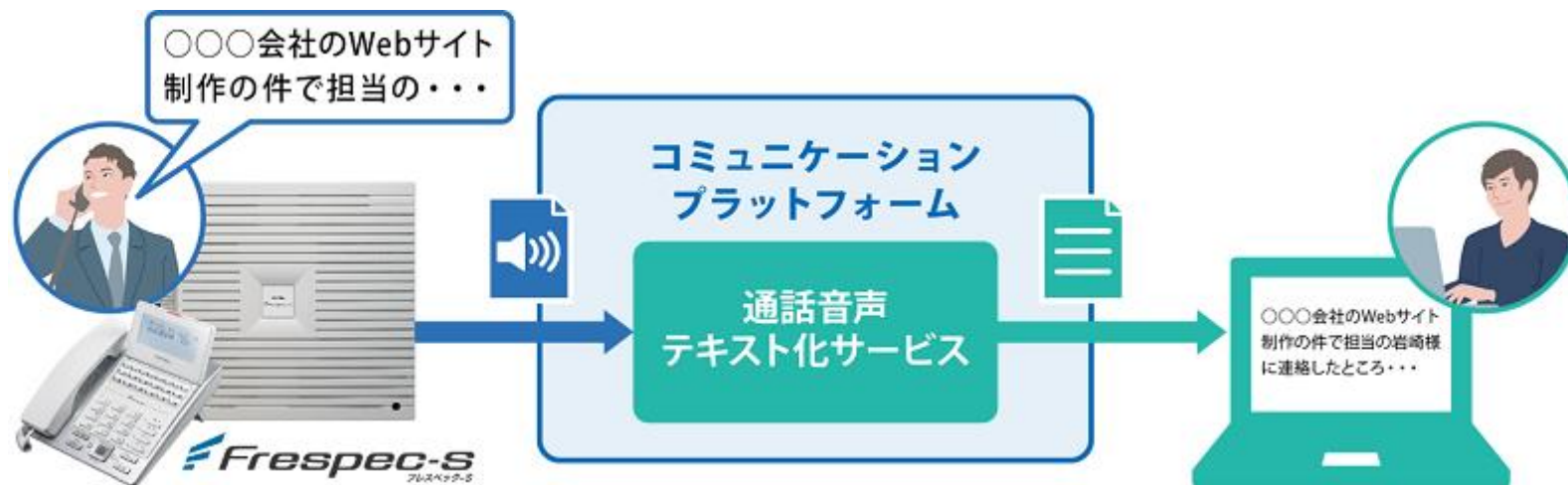
■ 2022年2月9日付

## NSD先端技術研究所と共同で通話音声テキスト化

(株)NSD先端技術研究所と共同で内線通話、外線通話、会議通話のテキスト化サービスを開発し、業界で初めて(2021年12月当社調べ)ビジネスホンに搭載することといたしました。

本サービスは、本年1月26日に発売した「Frespec-s」に搭載し、当社のグループ会社にてPoC(概念実証・価値検証)を行ったうえで、2022年度中にユーザへの提供を開始する予定です。

その後、中・大規模事業所向けビジネスホン「Frespec」へ搭載し、テキスト化を応用したサービス展開につなげてまいります。



ビジネスホン「Frespec-s」での内線・外線・会議通話を録音、テキスト化。  
PC等の端末で、テキストデータの表示・検索、音声の再生等が可能に